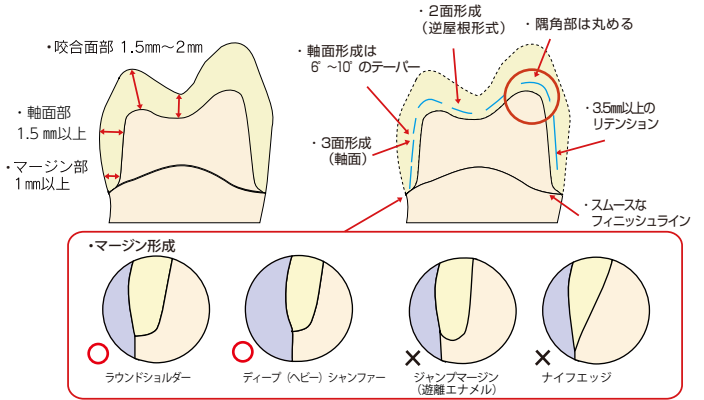


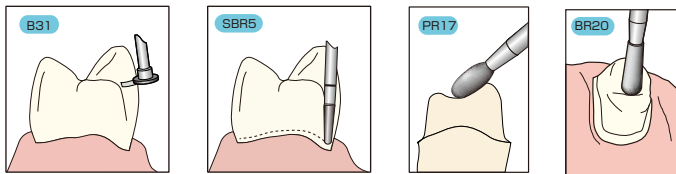
## 形成

### 支台歯形成の注意点

- マージン部は1mm以上、軸面部は1.5mm以上のクリアランスが確保された3面形成(軸面)を行います。
- マージン付近から切端へ向かって6°~10°のテーパを付けた軸面形成を行います。
- 咬合面は1.5~2.0mmのクリアランスが確保された2面形成(逆屋根形成)を行います。
- マージン形成は、ラウンドショルダー、アクセンチュエイテッドジャンファー、ディープ(ヘビー)ジャンファー等計測/ (スキャン) に適した形成を推奨します。
- 軸面や咬合面側は鋭角的な部分のないよう、丸みを帯びた形成がCAD/CAMには適しています。
- なめらかな高低のないフィニッシュラインの形成を行います。
- ジャンプマージン(遊離エナメル)、ナイフエッジ、凹んだショルダー、鋭角なショルダー、アンダーカットや、グループ、ホールなどの補助的形態は計測、加工に適しません。
- ミリングマシンで使用するバーは、幅1mm以下の内面加工はできませんのでご注意ください。



	必要に応じたデブカット、軸面形成が行えます。				舌面・小臼歯咬合面形成用	臼歯咬合面形成用
レギュラータイプ	B31	BR6	BR5	SBR5	PR17	BR20
微粒子タイプ	—	BR6f	BR5f	SBR5f	—	—



- 生活歯の基本形成は原則BR5で行います。最初から、径の大きなBR6で形成することは避けてください。削除量を大きくとる必要のある部位では、BR5で形成した後、BR6で整えることをお勧めします。SBR5は、BR5と同一テーパを持つ下顎歯、臼歯の形成用です。
- 軸面形成用のバーはレギュラータイプで概形形成をした後、微粒子タイプで仕上げ形成を行ってください。(BR5f: 生活歯用 BR6f:生活歯・生活歯用 SBR5f:下顎歯・臼歯用)



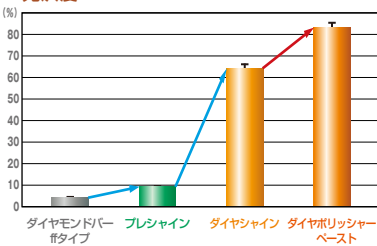
オールセラミックス  
プレパレーションバーセット  
支台歯形成を効率よく行うための  
9本バーセット

## 形態修正 / 研磨

### より滑沢な研磨面

形態修正・研磨には、プレシャインやダイヤシャイン、ダイヤポリッシャーペーストを推奨します。

#### 光沢度



技工用カーバイドバーで形態修正 プレシャイン#128を使って研磨 ダイヤシャイン#128を使って仕上げ研磨

さらに艶出しをする際には

艶出し用ダイヤモンドペースト  
ダイヤポリッシャーペースト 研磨ブラシセット



#### プレシャイン

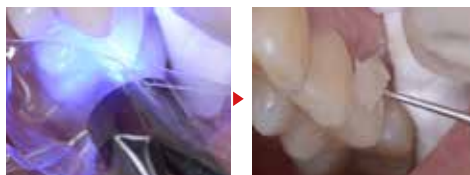
#### ダイヤシャイン



## 装着



セラミック接着用プライマー  
セラミックプライマー-II



余剰セメントに約1秒間光照射(タックキュア)※することで半硬化させ、一塊で容易に除去することができます。



装着完了。

支台歯色調によるセメント推奨色例  
有髄歯/レジンコア : A2 or A3  
メタルコア : A03

接着性レジンセメント  
ジーセム リンクエース

## 素材に合わせてセメント選択と前処理

組成にシリカを含むレジンブロックは、接着力向上のためにアルミナ・サンドブラスト処理とシランカップリング処理が必要になります。『セラミックプライマー-II』でクラウン内面にシランカップリング処理を行う

ことでシリカフィラーとレジンの化学的な結合が可能になります。接着性レジンセメント『ジーセム リンクエース』の高い強度との相乗効果により高い接着力を発揮するため推奨します。